

生活の足を確保する自動運転の実装

高齢化や人口減少が進行する中で、生活に不可欠な移動手段を確保していくためには、自動運転技術を地域社会に実装していくことが必要であり、特に、高齢化が著しい中山間地域等では、待ったなしの状況にあります。このため、地域の拠点としての道の駅等を活用しながら、路車協調での自動運転の実装を進めています。実装後も、ビジネスモデルの改善や走行時のリスク回避を道路側から支援するシステムなど、さらに利活用や安全性を向上し、持続可能な取り組みとなるよう支援します。

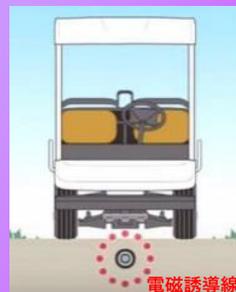
奥永源寺×自動運転

滋賀県
東近江市

【令和3年4月23日～実装開始】



自動運転車両の仕組み



路面に敷設した電磁誘導線でカートタイプの車両走行を誘導

太地町×自動運転

和歌山県
太地町

【令和4年11月1日～実装開始】

